

鹿島12年ぶりV

ジャパンXボウル 富士通に21—14



第2クォーター、鹿島WR中川②がファーストダウンを決める。高橋雄大撮影

Xリーグ王者を決める第23回日本社会人選手権・ジャパンエックスボウル（朝日新聞社など主催）が21日、東京ドームであり、2年連続5回目の出場となる鹿島（中地区2位）が3回目の出場で初優勝を目指した富士通（同1位）を21—14で下し、97年以来、12年ぶり2度目の優勝を果たした。

鹿島は前半、富士通に7点を先行されたが、第3クォーター（Q）に2本のFGとRB丸田のTDで逆転。第4Q開始早々には、QB尾崎が約80ヤードのTDパスを決めて、突き放した。

鹿島は来年1月3日の第27回日本選手権・ライスボウルで、関大と日本一の座を争う。